



主催：沖縄県 子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課

運営：(一社) 沖縄県リハビリテーション専門職協会

沖
リ
専
協

市町村職員・地域包括支援センター職員向け研修会

要支援者を再び自立維持に戻す！ 注目の短期集中予防サービス

新しい取り組み リエイブルメントとは 沖縄県、沖縄県介護保険広域連合も注目！

あなたのまちで「要支援者等の生活」を自立させる仕組みを作ろう！

～リエイブルメントがキーポイント！～

講師：服部 真治氏 医療経済研究機構 政策推進部副部長 研究部主席研究員

13：25 主催者挨拶：沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課 地域ケア推進班

13：30 講演 90分 講師：服部 真治氏 直接話が聞ける良いチャンスです！

15：10 グループワーク ①リエイブルメントについて、もっと知りたいこと

②リエイブルメントを導入するにあたっての課題は何か

15：30 質疑応答：グループで出た質問に対する講師からの回答

15：50 閉会の挨拶：沖縄県リハビリテーション専門職協会会長

16：00 終了

- ・ワーク後の各々の質問を講師に届け回答して頂く。
- ・記載質問、所属記載なし。
- ・個別発表無くストレスなし。

日時：2023年12月19日(火) 13：25～16：00

場所：アイム・ユニバース てだこホール 市民交流室

対象：市町村担当者、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、
ならびに PT・OT・ST・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職

申し込み URL：<https://forms.gle/UECF7bZhiEeLhrbx7>

■ 締切：2023年12月6日(水)までをお願いします。

■ 参加費：無料 対面研修会 ZOOM 配信はありません。

■ 問合せ：沖縄県リハビリテーション専門職協会 okiresen@gmail.com

■ 研修会の内容は、録画し再学習用として活用させていただきます。(受講者は映りません)



リエイブルメント・サービスとは

リエイブルメント・サービスを短期集中予防サービス（C型サービス）として実施する 山口県防府市では、新規要支援者・事業対象者の**6割以上が専門職サービスを利用しない、いわゆる「卒業」状態**となり、そうでない方の多くも「できることが増えた」「活動的になった」など、大きな成果をあげています。

その成果が地域にもたらす効果は誰もが想像できる通りです。防府市では要支援者・事業対象者の**サービス費用が20%削減**され、**要支援認定率は低下し、要介護1の認定者数も減少**傾向にあります。

地域支援事業費の上限額を超えている自治体や、軽度者の継続的なサービス利用が困難な地域、介護人材不足が課題の自治体においては、このサービスが地域課題解決に大きく役立つはずですが、

このサービスは、「身体に触れることなく」「家がない器具を使わず」に行うサービスで、「動機づけ面談」を中心に、週1回計12回実施するサービスです。このサービスによって「生活しづらさを解消」「セルフマネジメントの獲得」「地域資源を活用した活動的な生活」を目指します。

「できないこと」に着目し「してあげる」という「サービス提供」を原則にした支援から、「できること・したいこと」に着目し、本人視点を重視した「ウェルビーイング支援」へ高齢者支援のパラダイムをシフトさせる取り組みであり、介護人材不足・事業費の増大という地域課題を解決する取り組みです。

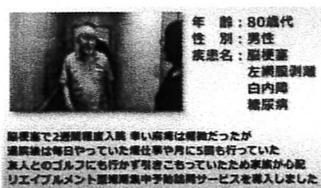
リエイブルメント・サービスのエビデンス

- ・ユーザーの63%が 12 週間以内にサービス不要な状態へ（英国国立医療技術評価機構）
 - ・8～10週間で約65%が在宅ケアが不要に（オーストラリア）
 - ・改善可能と判定された人の60%が訪問介護看護を必要としない状態へ（デンマーク）
- 国内においても、大阪府寝屋川市における調査で同様の成果を出しています。

資料等

左：「The リエイブルメント」
（発行）社会保険出版社

右：「リエイブルメントで元気な自分を取り戻す」
国際長寿センター



年齢：80歳代
性別：男性
疾患名：脳梗塞
左網膜剥離
白内障
糖尿病

脳梗塞で2週間ほど入院。辛い病後は閉居だったが、遠征は毎日やっていた仕事や月に5回も行ってた友人とのゴルフにも行かず閉居をこもっていたため家族が心配。リエイブルメント開始後集中予防サービスを開始しました。



第5回目の訪問

第5回日は対面での取組の準備



最後の訪問～卒業

80代の男性が脳梗塞による入院後、閉じこもり気味だったところから3か月12回のサービスにより役割を取り戻し、好きなゴルフに復帰するまでの取り組みに密着



YouTube配信中